High Definition LCD Digital Signage Display User Manual

43WH7/55WH5

GV09-T966-1000

2025.10.24

注意事項

1. 本機を設置する際は屋外への常設は避けてください。また、ディスプレイに直射日光があたる場所も避けてください。大雨、雪、台風などの強風の場合は屋内に取り込んでください。

2. 本機を設置する際には熱源から距離をとり、傾斜のある場所・滑りやすい場所・振動や衝撃を受けやすい場所・不安定な場所や、極端に閉鎖された空間には設置しないでください。

3. 本機を設置する場合、移動の際に過度の衝撃・振動をあたえないでください。床・道路の窪みや段差などを注意し、階段・段差などは避けてスロープを使用して移動してください。本体やボディ（プラスチックケースも含む）や、車輪やその周辺構造の破損に繋がります。※これらボディ・車輪関係の破損は、たとえ保証期間内であっても有償修理となります。

4. 本機を移動させる場合は、かならずバッテリーケース部分を折り畳んで移動してください。バッテリーケースを折り畳むときにバッテリーケースを支えている突っ張アームに触らないでください、怪我をする危険があります。怪我をしても弊社は一切の責任を負いません。

5. 本機を設置する場合は、背面カバー内部（車輪の近く）に組付けられているスライドロックを使用して車輪を回らないようにしてください。

※スライドロックは本機を完全に固定するものではありません。

6. 本機の充電や電源に接続する場合は、必ず専用の充電（電源）ケーブルを使用し、屋内の冷暗所にて行ってください。専用の充電ケーブルは防水・防塵機能がありません。微量の雨や埃であっても破損や故障の原因となります。

7. 本機を充電する場合は、必ず専用の充電ケーブルを家庭用コンセント（100V）に接続して行ってください。それ以外の電源では故障、感電や火災の原因となります。

8. 市販の発電機、充電器、ポータブル発電機、ポータブル充電器、ポータブル電源、インバーター発電機、インバーター充電器、急速充電器などの電源（災害時バックアップ、バイク、車、農機具、船舶、照明器具、作業工具、その他工業機械用など）は絶対に使用しないでください。電源基板やバッテリーの破損に繋がります。正しく使用されない場合は保証対象外になります。

9. 本機を運用する場合は、防水・防塵機能を保持するため、電源コネクターに付いているカバーをしっかり閉めてください。

10. ガラスを搭載している機種は取り扱いに注意してください。

11. 孔や開口部は本機の放熱設計に基づいて設けられているものなので、ふさがないでください。

12. 本機を使用する前に保護シートなどをすべて取り外してからご使用ください。

13. 本機を清掃する際には必ず電源をオフにして、柔らかい布等で画面を拭いてください。ガラスクリーナー等を使用することをお勧めしますが、画面や本機に直接塗布しないように気を付けてください。

14. 本機は精密機械ですので、浴室や水辺など、水がかかる可能性のある場所では、ご使用を避けてください。感電や火災の原因となります。

15. 修理・分解・改造などを行わないでください。感電や火災の原因となります。また、無償での修理の対象外となります。

16. 本機内部に、金属や薬品などが入らないようにしてください。回路がショートして、故障や火災の原因となります。

17. 充電ケーブルは、必ず付属の製品をご使用ください。他の製品をご使用になると、感電や火災の原因となります。

18. 充電ケーブルを、束ねた状態で使ったり、折れ曲がった状態で使ったりしないでください。感電や火災の原因となります。

19. 充電ケーブルが破損したときは、ただちに電源コードの使用をおやめください。感電や火災の原因となります。

20. 充電ケーブルを接続する場合、端子にほこりがたまっていないかご確認ください。ほこりがたまった状態での接続は火災の原因となります。

21. プラグを抜くときは、必ずプラグ部分をお持ちください。ケーブル部分を持って抜くと、断線やショートなど故障や破損の原因となります。

22. 本機をご使用にならないときは、電源 OFF して電源プラグを抜いてください。差したままにしておくと火災や漏電などの原因となります。

23. 本機を不安定なところや振動の加わるところなどに置かないでください。また、重いものを乗せたり、上に乗ったりしないでください。故障や破損の原因となります。

24. 本機を落としたり、物をぶつけたりしないでください。強い衝撃を与えると、故障の原因となります。

25. 本機を、直射日光が長時間あたるところ、高温多湿なところ、発熱物の近くなどで使用しないでください。火災や故障などの原因となります。

26. ディスプレイを、ボールペンなど先のとがったもので触らないでください。破損の原因となります。

Contents:目次

1. 概略 5
1.1 はじめに 5
1.2 主な機能 5
1.3 電源コネクター 6
1.4 対応ファイル形式（表示できるファイル形式） 7
1.5 本機の移動と設置方法 7
1.6 電源 ON からのディスプレイ画面の変遷 （コンテンツデータ無しの場合) 9
1.7 リモコン 主な操作はリモコンで行うことができます 10
1.8 バッテリー（バッテリー稼働時間と充電時間） 11
2. Magic Player でコンテンツ再生・更新 12
2.1 Android OS とマジックプレーヤー(Magic Player APK) 12
2.2 コンテンツ再生 12
2.3 コンテンツを本機にコピーする・新しく更新する 13
2.3.1 ネットワーク（スマートフォンから Wi-Fi 経由で更新） 13
2.3.2 USB メモリ（USB メモリを使用して更新） 14
2.4 USB メモリを使用する際の注意点 15
3. Magic Player の設定項目 18
3.1 ネットワーク設定 18
3.2 システムコントロール 19
3.3 詳細設定 20
3.4 システムモード 22
3.5 Wi-Fi スポット 22
3.6 システム言語 23
3.7 今すぐ再生 23
3.8 番組をクリアする 23
3.9 システム再起動 24
3.10 ネットワーク診断 24
3.11 について（About Us） 24
保証規定 25

3.12 保証受付.....25
3.13 保証手順.....25
3.14 保証内容.....25

1. 概略

1.1 はじめに

・本機は最大 1080P のフル HD で画像や動画を表示できます。

また、動画や画像のスライドショー再生が可能です。コンテンツ・コンテンツプレイリストを作成、USB メモリースティック（以降は USB メモリという）を使用してコンテンツを本機のメモリにコピーします。

・本機は HDMI 接続が可能です。リモコンからソースを変更することで HDMI 機器から画像を表示できます。

・本機/本書に表示/記載されている設定項目名称（OSD メニュー名称、機能名称など）は、改良の為に予告なく変更される場合があります、ご了承ください。

【注意】:

・型番 WH5/7 シリーズは背面カバー内に HDMI/LAN コネクター/マイクロ SD スロットを搭載しています。

※背面カバーを開けたままで使用すると防水防塵機能が失われ、故障の原因になります。かならず背面カバーを閉めてカギをかけてから本機を使用してください。

1.2 主な機能

- タイマー電源 ONOFF を設定することができます。（1 日最大 4 項目まで）
- 本機の内部メモリは 32GB です。（使用可能容量は約 30GB）
- HDMI 接続による表示ができます。
- スタンドアロンで設置する場合、再生するメディアは USB メモリ※1 から直接再生することも USB メモリから内蔵メモリにコピーすることもできます。

※1・exFAT 形式は認識しません。PC などで FAT32 または NTFS 形式にフォーマットしてからお使いください。認識可能な容量は 32GB までとなります。

・Android OS 4.0 以降/Linux Kernel 2.5 以降対応の USB（2.0）メモリを推奨。

・本機搭載の USB コネクターは 2.0 対応です。

・USB メモリの使用方法は「項目 2.4」を確認してください。

・KIOXIA（キオクシア）の USB メモリはコンテンツを本機にコピーする際に不具合が報告されています。

1.3 電源コネクター

※左図上から

・電源スイッチ：

本機（サイネージ）の電源を ON/OFF します。

※モデルにより電源スイッチの上に充電完了（緑色）／充電中（赤色）を表す LED が付属します。

・電源コネクター：

付属の充電（電源）コードで家庭用コンセントに接続してください。

充電（電源）ケーブルはカチッと音がするまでコネクターに押し込んでください。

※充電完了時はかならず防水カバーキャップをコネクターに被せてください。

【注意】

■本機を運用する場合は、電源コネクターに取付けられている防水カバーキャップをしっかり閉めてください。防水カバーキャップを開けたままにすると防水防塵効果が得られず、機器が破損します。

■本機を充電や電源に接続する際は、**かならず家庭用コンセント（100V）に付属の専用充電（電源）ケーブルを使用して接続してください。**

■本機を使用、充電する場合は市販の発電機、充電器、ポータブル発電機、ポータブル充電器、ポータブル電源、インバーター発電機、インバーター充電器、急速充電器などの電源（災害時バックアップ、バイク、車、農機具、船舶、照明器具、工作／作業工具、その他工業機械用など）は絶対に使用しないでください。電源基板やバッテリーの破損に繋がります。正しく使用されない場合は保証期間内でも有償修理となります、ご了承ください。

■本機の**充電や電源を接続する際は、かならず屋内の冷暗所（温度・湿度が低く一定に保たれた、埃・雨・直射日光が当たらい場所）にて行ってください。**

※専用充電（電源）ケーブルは防水・防塵機能がありません。

■本機の充電や家庭用コンセント（100V）との接続は、最初にリモコンを使用して本機の電源を OFF します。その後、本機の電源スイッチを OFF してから接続を行います。

※詳しくは「1.8　バッテリー（バッテリー稼働時間と充電時間）」をご確認ください。

1.4 対応ファイル形式（表示できるファイル形式）

■動画：MPEG1, MPEG2, MPEG4, mp4, MOV, H.264, DIVX, XVID

■音声：MP3　　■画像：JPG JPEG, BMP, PNG, GIF

1.5 本機の移動と設置方法

本機を移動する際は電源 OFF し、バッテリーケース部を折り畳んで移動を行ってください。

下図①を確認してください。バッテリーケース部が開いたままの状態で移動すると、振動で「突っ張りアーム」が曲がり、液晶画面ケースに衝撃を与える可能性があります。これを避けるために①～③の動作でバッテリーケース部を折り畳んで移動してください。設置場所が決まったら背面カバー内部に組付けてあるスライドロックでタイヤを回転しないようにしてください。

※スライドロックは本機を完全に固定するものではありません、滑りやすい場所・傾斜・振動・衝撃のある場所を避けてください）

ゴム足を支点にタイヤを少し浮かせる→金属バーを軽く押す

【注意】突っ張りアーム部分には触れないで下さい、怪我をする危険があります。

※設置する場所は**直射日光がディスプレイにあたらないようにしてください。**

直射日光にあて続けると、LCD は構造上の特性からブラックアウト現象を起こします。

【注意】：突っ張りアーム

- 「突っ張りアーム」には触れないでください。怪我をする危険があります。

  上図③を確認してください、「金属バー」を足で軽く何回か押す（足でトントンとタッチするイメージ）と「突っ張りアーム」は曲がります。

■かならず電源を OFF にして、バッテリーケース部を折り畳んでから移動

• 設置場所が決定したら背面カバーを開けてロックレバーを倒してタイヤを固定します。

• 背面ドアの開閉ノブ（カギ穴付き）

• 背面ドア内部のロックレバー

開閉ノブは製品に同梱されているカギを使用して起こします。その後上図のように左側に回転させます。ロックレバーは 90° に立っている赤い部分を水平に倒します。（タイヤの穴を合わせ、バーを滑り込ませます。）

【注意】：バッテリーケース内部に水分や粉塵が確認された場合は保証期間内でも有償修理となりますのでご了承ください。

1.6 電源 ON からのディスプレイ画面の変遷 (コンテンツデータ無しの場合)

本機は本体の電源 ON、あるいはリモコンの電源 ON から使用できる状態になるまで約 30 秒の時間が必要です。

ディスプレイに向かって右側面に設置してある電源スイッチを ON にするか、あるいは電源スイッチが ON になっている状態で、リモコンの電源ボタンでサイネージの電源を ON すると、下図のような順でディスプレイに画面が表示されます。

- ②のサイネージプレーヤー画面が表示されるまでサイネージに触れないでください。
- リモコンの使用や、USB メモリなどをサイネージに取付けないこと。

① ：Android ロゴ画面　　② :Magic Player 画面

【参考】：① ～ ②の画面まで自動で変わっていきます。

① の画面の状態でリモコンを使用して表示画面を変更したり、APK にアクセスしてしまうと③のサイネージプレーヤー画面まで進まない場合があります。

その時は一度本機の電源を OFF にして電源を再度 ON し、最初から起動をやり直します。

② の画面はサイネージに再生すべきコンテンツデータが記録されていない場合の画面。

1.7 リモコン 主な操作はリモコンで行うことができます

■ボタンの機能

ボタン名称	機能
⏻	電源ON/OFF ※長押し：シャットダウン/再起動
🔇	ミュート
📺	コンテンツ再生スタート ※コンテンツが記録されている場合
🏠	Androidホーム画面の表示
⚙	Android設定画面の表示
🧰	ツールボックスの表示 ※主な設定はMagicPlayer設定で行います
HDMI 1/2	HDMIに切替え
①	シングル/リストサイクルモードの切替え ※特に使用しません
VOD	コンテンツリストの表示 ※特に使用しません
🔉−	音量減少
🔊+	音量増加
☰	コンテンツ再生アプリ ※MagicPlayer設定画面の表示
↖	ポインタ(カーソル)の表示
OK	再生/一時停止(ポーズ)、 または決定/確認
▲	上に移動
▼	下に移動
◀	左に移動/前にスキップ
▶	右に移動/次にスキップ
TAB	項目間の移動 ※特に使用しません
⮌	前に戻る/コンテンツ再生のストップ

※黄色枠内はパスワード等の数字入力用
※赤枠内は特に使用しません

※液晶表示部の下にあるリモコン受光部位置を確認後、約 1～2m 離れて使用してください。リモコン受光部の前に障害物となるものを置かないでください、リモコンが機能しなくなります。

1.8 バッテリー（バッテリー稼働時間と充電時間）

型番 WH5/7 シリーズはバッテリーを搭載しています。満充電（バッテリーインジケーター100%）の状態で約 10～14 時間コンテンツを再生可能です。

※再生時間はコンテンツの容量や音量の大きさに影響されます。

① ：**バッテリー充電について**

※約 7 時間で 100%充電ができます。（バッテリーが完全に空の場合、充電を行いインジケーターが 100%表示になっていても、約 7 時間の充電時間が必要です。

これは充電時間の計算と予測値で表示が決まるために、表示%と実際のバッテリー容量に相違が発生するためです。これは仕様となります。）

また、本機のバッテリーが完全に空の時に、電源 OFF 状態で電源ケーブルを取付けると、バッテリーが充電されていないにもかかわらずインジケーターが 100%表示になり、充電が行われない場合があります。

この場合は、本機の電源スイッチを ON してください。充電が開始されます。

（この場合でもバッテリーインジケーターは 100%のままですが充電はされていませんので約 7 時間の充電時間が必要です。これは仕様となります。）

【参考】：充電状況 LED が電源スイッチの上に付いているモデルは、たとえバッテリーインジケーターが 100%表示でも、この LED が赤（充電中）から緑（充電完了）になるまで充電してください。（約 7 時間必要です）

【注意】：バッテリーが完全に空（0%）となり本機が停止した場合、電源ケーブルを接続しても充電が開始されません。電源ケーブルを接続して電源スイッチを ON して本機を起動させてください。受電が開始されますので約 7 時間の充電を行ってください。

② ：**バッテリーの残量について**

バッテリー残量 8～10%程で停止する可能性があります。システムを稼働させるためのバッテリー残量に満たないためです。

（コンテンツ容量や音量の大きさの設定で停止目安バッテリー残量は異なります）

【注意】：

■バッテリー稼働時間はコンテンツ内容（動画容量や音量）によって変化します。

■約 14 時間のバッテリー稼働は、フル HD（1080×1920）静止画 5 枚の繰り返し再生を行った場合です。（動画・音声・音楽は無し、バックライト調整有の状態）

■本機の設置環境（温度が高い・低い場合など）によりバッテリー稼働時間は変化します。

■バッテリー残量が 8～10%程で停止（電源 OFF）する場合があります。

■停止から 100%満充電まで約 7 時間が必要です。

※上記はサイネージの電源が OFF の場合の必要充電時間です。

※充電状況は背面のバッテリーインジケーターで確認できます。

■充電中であってもサイネージの電源 ON は可能です。稼働させながら充電を行うため、電源 OFF の場合より満充電まで時間が必要です。また、防水・防塵機能も失われます。

かならず室内の冷暗所にて（直射日光・雨・雪・風・埃充等を避けること）充電作業を行ってください。

■本機の充電にはかならず付属する専用の電源ケーブルを使用してください。

※電源ケーブルのコネクタ部分（接点部分）やコンセント側コネクタに防水機能はありません。

2. Magic Player でコンテンツ再生・更新

2.1 Android OS とマジックプレーヤー(Magic Player APK)

本機は Android OS Vr11 を搭載したデジタルサイネージです。コンテンツ再生やスケジュール電源 ONOFF 設定等を行う基本の APK「Magic Player」を使用して運用します。

2.2コンテンツ再生

電源をオンすると自動的にコンテンツの再生が始まります。（コンテンツが本機に記録されている場合）

1　電源ケーブルを接続する。（充電中の場合）

2　電源を ON にする。

3　コンテンツが自動再生されます。

4　再生するコンテンツがない場合は右画面が表示されます。

USB メモリを使用してコンテンツを本機にコピーしてください。

自動でコンテンツが本機にコピーされます。

※再生が始まれば USB メモリは取り外せます。

2.3コンテンツを本機にコピーする・新しく更新する

コンテンツの本機へのコピー・更新は主に USB メモリを使用します。

背面ドアを同梱のカギを使って開け、内部に設置されたマザーボード上の USB コネクター（2 個あるうちどちらでも OK）にコンテンツデータ（mp4・jpg など）を記録した USB メモリースティック（以降 USB メモリという）を差込んでください。

しばらくすると**液晶画面中央に「ファイルをコピーしています」の文字**が表示され、本機内部のメモリにコンテンツデータのコピーが始まります。

コピーが完了すると液晶画面にコンテンツが表示され再生が始まります。

この状態になったら USB メモリを取外して背面カバーを閉めてください。

【注意】：

「コピー中」の文字が出るまで早い場合で 5 秒ほどです。時間がかかる場合で 1 分ほどですが、これはコピーするデータ容量によってこの時間は変わります。

※動画・静止画のデータ容量ので変化します。（データ容量が大きなものほど時間が必要）

2.3.1 ネットワーク（スマートフォンから Wi-Fi 経由で更新）

スマートフォンと本機が同じネットワーク環境下（同一 SSID）に接続している場合、「LED Art APK」を使用してコンテンツ配信が可能です。

現状では使用できません。

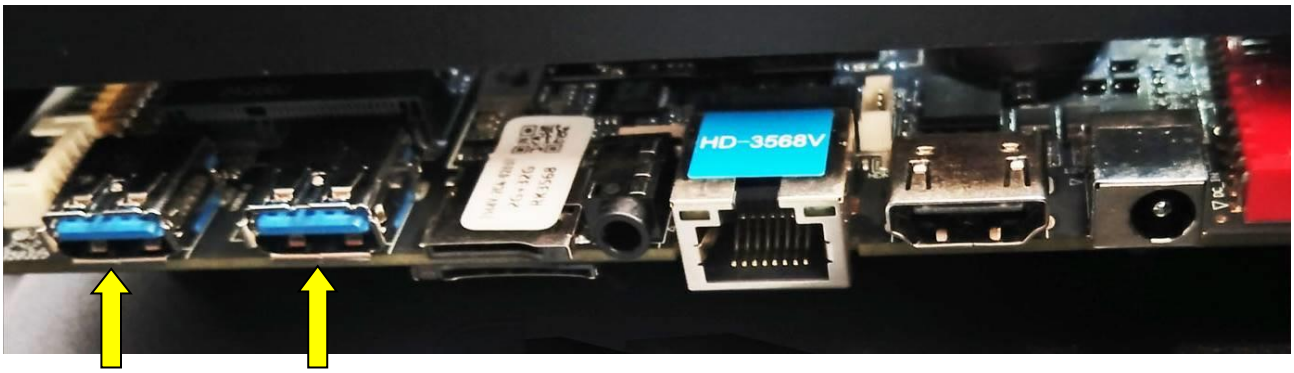
2.3.2 USB メモリ（USB メモリを使用して更新）

USB メモリを使用してコンテンツを本機にコピーするには、本機のコンテンツのコピー先である内蔵メモリを選択しておく必要があります。（デフォルトで選択されています）

リモコンの Magic Player 設定ボタンから設定画面（以下 OSD と呼称）を表示させます）

1　下図を確認してください。**詳細設定→保存場所/メモリ**を選択します。

2　下図は背面ドア内部のメイン基板です。USB A タイプのコネクターが二箇所あります。どちらに USB メモリを取付けてもコンテンツを本機メモリにコピーできます。



USB メモリを取付けると液晶画面に「コピー中」の案内が表示されます。しばらくすると液晶画面に自動でコンテンツの再生がスタートします。

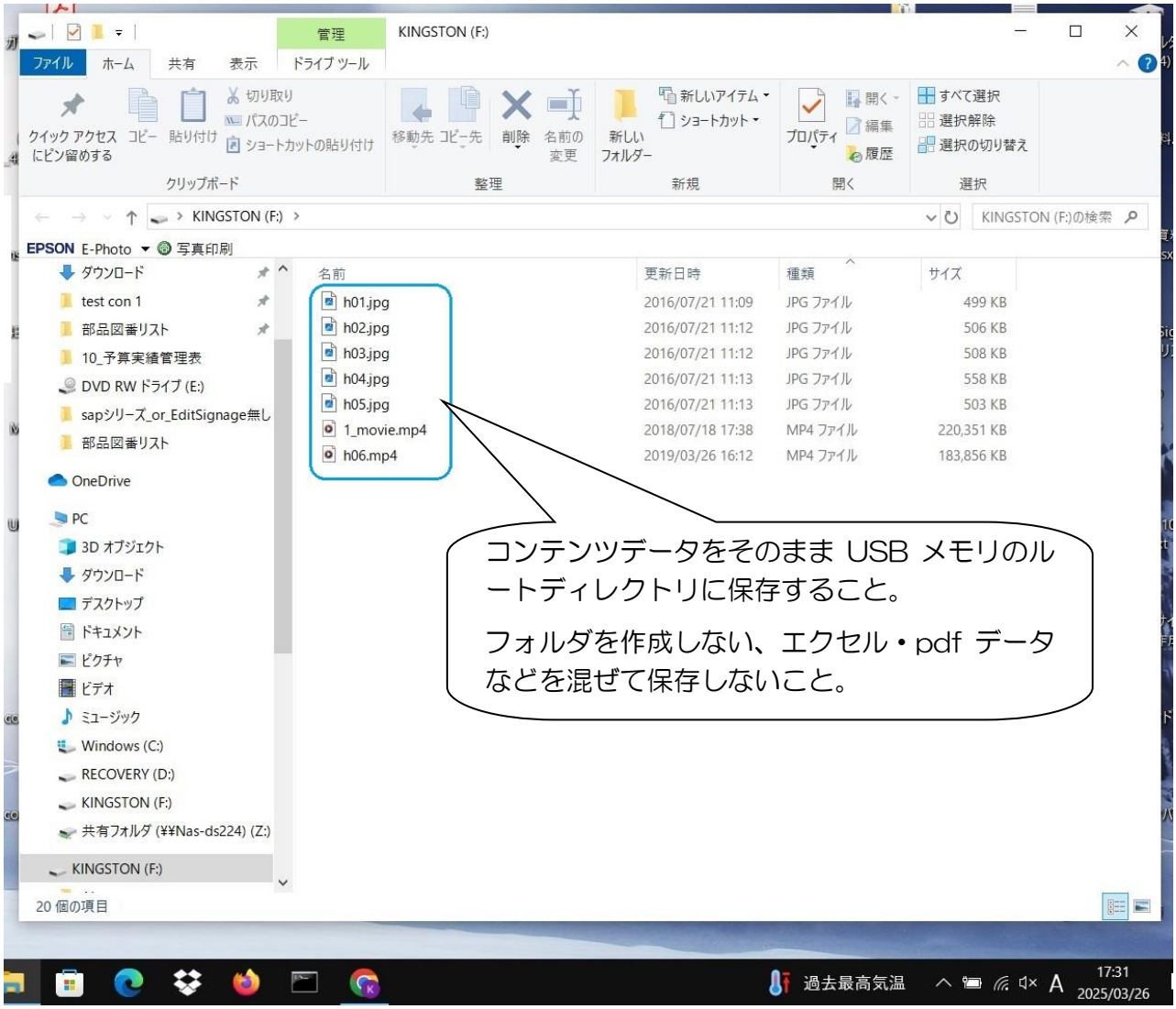
再生がスタートしたら USB メモリをコネクターから取外して背面ドアをしっかりと閉めてください。背面ドアが空いたままだと防水防塵機能が損なわれ破損の原因になります。

2.4USB メモリを使用する際の注意点

※1：本機に取付けるUSB メモリのルートディレクトリには、コンテンツデータのみを保存してください。

ルートディレクトリエリア内に、フォルダを作成してその中にコンテンツデータを保存したり、コンテンツ以外のデータ、エクセルやPDF データが記録されている場合サイネージはUSB メモリを認識しません。

下図を確認してください。

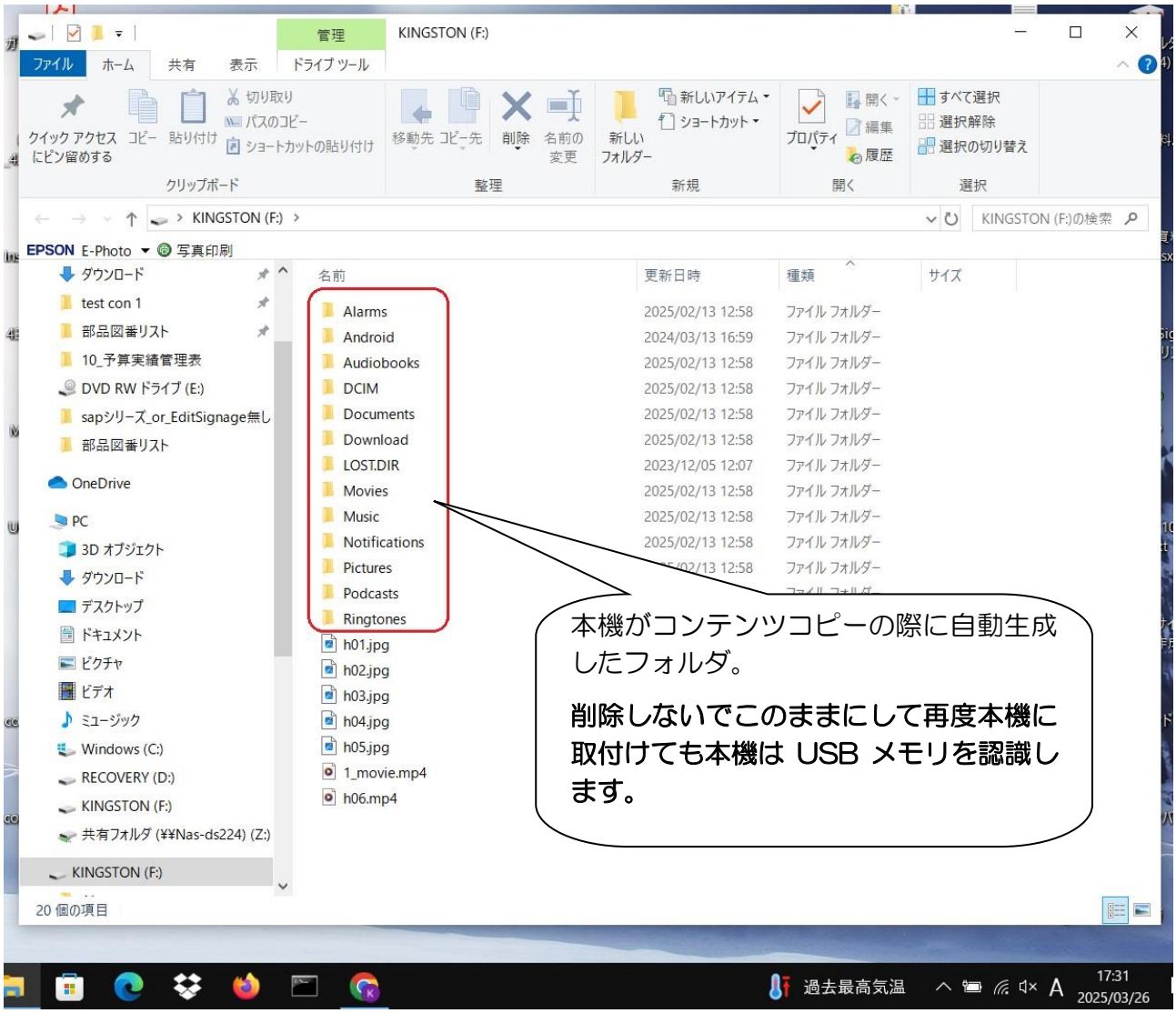


※2：USB メモリ内のフォルダの自動生成について

USB メモリにコンテンツだけを保存しても、一回でも本機にその USB メモリを本機に接続してコンテンツを本機のメモリにコピーすると、本機はその USB メモリにシステムで使用するためのいくつかのフォルダを作成してしまいます 。

これらのフォルダ（約 5 個～13 個）は、削除しないでそのままにしても、本機はその USB メモリを認識し、コンテンツデータを内蔵メモリにコピーします。

下図を確認してください。



※3：PC から USB メモリ(2.0 推奨)にコンテンツデータをコピーする際は Windows PC(10 推奨)をお使いください。

【注意】：マックブックからコピーした USB メモリをサイネージに取付けても「データがありません」などのコメントが表示され、コンテンツデータのコピーができません。

Windows PC(10 推奨)を使用してください。

※コンテンツ再生方法は下記の 1 種類です。

■スライドショー再生：

USB メモリにコンテンツ（動画・静止画ファイル）を記憶させ、USB メモリをサイネージに挿せば自動コピーします。コピー完了後本機は再生をスタートします。この状態になれば USB メモリを取外してください。

※一度本機に取付けてコピーを行った USB メモリには、本機からいくつかのフォルダがコピーされます。これらは削除しても問題はありません。

【参考】：

・本機にコンテンツの再生順番を指示したい場合は、各コンテンツファイルの名称の頭にアラビア数字「001、002、003、、、009、010」と再生順番を表す数を記入します。

※数字は半角、文字はアルファベット半角を推奨します。

【注意】：

複数のコンテンツを再生する時の画像の表示方法(エフェクト/上からの画像変更や下からの画像変更）を選択し有効にするには、一度コンテンツをすべて削除して再度コンテンツを本機のメモリにコピーしてください。

※エフェクトは下図システムモード→スタンドアロンを選択→エフェクトから選びます。

※システムモード内の再生時間は静止画の表示秒数です。デフォルトは 10 秒です。

※削除は OSD の番組をクリアするから行います。下図を確認してください。

3. Magic Player の設定項目

リモコンを使って Magic Player 設定項目（以降は OSD という）を表示します。

3.1 ネットワーク設定

■無線・有線・モバイルネットワークの設定を行います。

・ワイヤレスネットワーク：Wi-Fi 接続時 IP アドレスは DHCP です。固定 IP に設定することはできません。現状は使用できません。

・有線ネットワーク：LAN ケーブルでルーターと接続します。IP アドレスは DHCP です。また固定 IP アドレスに設定することもできます。

LAN ケーブルを接続すると背面ドアが閉められないために防水防塵機能が損なわれます。

したがって LAN ケーブル接続は使用しません。

・モバイル ネットワーク:4G：モジュールを追加すると、4G 信号を開くか閉じるかを選択できます。現状は使用できません。

3.2 システムコントロール

■タイマー電源 ONOFF や明るさの調整を行います。

・明るさ調整：液晶画面下の照度センサーによって自動調整となっています。この機能は使用しません。

・スイッチパネルの設定：液晶画面の ONOFF 時間を毎日複数セット設定が可能です。

【注意】: この設定項目は、マザーボードから画面への信号の ONOFF のみを行います。したがって信号がない場合、液晶画面は黒くなります。

スイッチパネルの設定は行わずに「機械設定の切り替え（本機のタイマー電源 ONOFF）」を行うことを推奨します。

・機械設定の切り替え：本機のタイマー電源 ONOFF を行えます。時間設定を毎日複数セット追加できます。

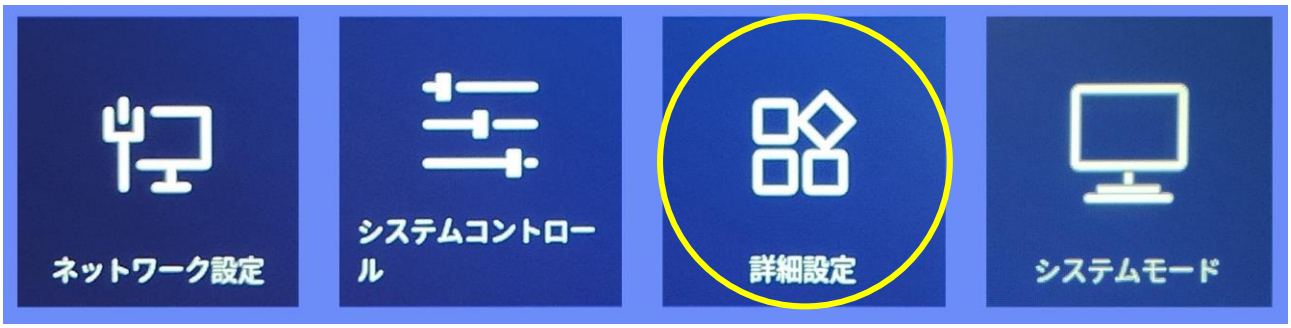
曜日を指定するプルダウンを開くと、月曜日から日曜日までのどの曜日にこの切り替え時間を有効にするかを選択できます。

※最大で 4 項目のタイマー電源 ONOFF を設定できます。

※必要であればスイッチパネルの設定と一緒に設定を行います。

・音量設置：任意の時間に音量設定を行えます。

3.3 詳細設定



■コンテンツの保存場所（内蔵メモリなど）や時間の設定を行います。

• **保存場所**：内蔵メモリ・SD カード（32GB まで）・U ディスク（USB メモリ 32GB まで）を選択可能。

【参考】:使用できる USB メモリはバージョン 2.0 です。また PC からコンテンツを USB メモリにコピーする場合は Windows PC(10 推奨)を使用してください。

※マックブック、あるいはバーチャル Windows でコンテンツを USB メモリに保存した場合は、コンテンツコピーに不具合が報告されています。

• **スクリーン回転**：液晶画面の表示角度を設定します。270° （二百七十度）のデフォルト設定を推奨します。

• **適応回転**：画面の回転に合わせてディスプレイが回転します。本機では使用しません。

• **マルチマシン**：複数の画面に同じコンテンツが表示され、再生の進行状況は同じで、同時にプログラムを切り替えることができます。特に使用しません。

• **インタラクティブモード**：コンテンツにボタンを追加します。ボタンはコンテンツ（静止画/動画）に関連付けられ、クリックで対応するコンテンツに切り替わります。特に使用しません。

• **レジュームモード**：電源が OFF になって再起動しても、コンテンツは続きから再生されます。続き再生が動画の最初に近い場合は最初から再生されます。

• デュアルスクリーン；特に使用しません。

• HDMI IN：「ON/開く」に設定すると、セットトップボックスなど HDMI 接続した機器からのコンテンツを表示します。

【参考】：HDMI 接続したセットトップボックスにタイマー電源 ONOFF 設定を行い、電源 OFF した場合、たとえ「HDMI IN」を「開く」にしていても本機は HDMI 信号を検出することができません。この場合は Magic Player が機能してコンテンツを再生します。（コンテンツがメモリに記録してある場合）

• HDMI IN 方向：HDMI 接続した画像の表示方向を設定します。通常は HDMI 接続する機器で表示方向設定を行えば、デフォルト設定の 90° （九十度）で接続を推奨します。

• 投げ塀（スクリーンプロジェクション）：特に使用しません。

• 日付と日時：日にちと時間設定を行います。

• イーサーネットネットワーク監視：特に使用しません。

• スタンバイページを開く：「OFF/閉じる」にすると本機にコンテンツが記録されていないときの表示画面が「現在プログラムがありません」の表示に変更されます。

• デバイスロック：「ON/開く」にするとコンテンツを送信するときにパスワード」が必要になります。特に使用しません。

• コントロールパスワード：「ON/開く」にすると Magic Player の OSD 設定にパスワードが必要になります。特に使用しません。

3.4 システムモード

■コンテンツ表示の設定を行います。

- **システムモード**：スタンドアロンを選択してください。（下記設定はスタンドアロン時のみ設定可能です）
- **読込みモード**：デフォルトの「写す」を使用してください。
- **再生時間**：静止画一枚の表示時間を設定します。動画の再生時間には影響しません。
- **塗りつぶしモード**：フルスクリーン表示を使用してください。
- **エフェクト**：コンテンツの切り替え時の効果を選択できます。
- **今すぐ消去**：特に使用しません。
- **エフェクト時間**：コンテンツの切り替え時のエフェクトにかかる時間設定ができます。
- **表示時間**：液晶画面に時間を表示します。

3.5 Wi-Fi スポット

■本機を Wi-Fi アクセスポイントに設定します。現状では使用できません。

3.6 システム言語

■Magic Player で使用する言語を選択することができます。

3.7 今すぐ再生

■設定を終了してプログラムを再生します。

3.8 番組をクリアする

■本機メモリからすべてのコンテンツを削除します。

3.9 システム再起動

■このエリアを選択して二回決定を押すと再起動します。

3.10 ネットワーク診断

■Wi-Fi ルーターの IP アドレスなど、接続されているネットワークの詳細を表示します。

3.11 について（About Us）

■Android OS のバージョン、マックアドレスなど本機の詳細について表示します。

保証規定

3.12 保証受付

1. 本機の不具合等に関するお問い合わせおよび修理の御依頼は購入された販売店までお願いします。

3.13 保証手順

1. 購入された販売店窓口宛にお問い合わせいただき、故障または不具合内容をご連絡下さい。
2. 修理の段取りや製品のお渡し方法など、購入された販売店窓口までお問い合わせください。

3.14 保証内容

Ⅰ. 保証期間について

① 保証期間は製品到着日(購入日)より 1 年間となります。※本製品本体・技術的ご質問回答

② ただし製品到着日(購入日)を証明できるもの(配送伝票・レシート等)を紛失された場合は弊社出荷日より 1 年間の保証になります。

③ 購入時に延長保証をオプションにてお申込みの場合には、それに準じた保証期間となります。

Ⅱ. 初期不良期間

① 製品到着日(購入日)より 2 週間まで、本期間経過後は、下記(無償保証期間)へ自動的に移行します。

② 初期不良期間内における製品の不良・故障などの症状が認められた場合、販売店負担にて商品の回収・修理を行います。

③ 誤品・欠品・運送破損等の対応は初期不良期間内のみとなります。初期不

良期間を超えての誤品・欠品・運送破損等対応はサポート対象外とさせていただきます。

Ⅲ. 無償保証期間

① 製品到着日(購入日)より 1 年間。(有償オプション延長保証は、それに準じた期間)

② 無償保証期間内の修理・補修費用及び返送費用は販売店負担にて行います。(販売店への送付費用はお客様ご負担)

③ 無償保証期間内の首都圏以外の出張修理は、出張費のみ実費請求させて頂きます。

④ 修理は基本部品交換とさせて頂きます。修理期間中の同型機の貸出しは、在庫がある場合は対応させて頂きますが、基本対応できません。

Ⅳ. 保証期間外

① 上記［無償保証期間］を経過した場合及び下記［無償保証対象外事項］に該当した場合には弊社および販売店に関する一切の保証は失効します。

② 保証期間外における、いかなる不良・故障であっても弊社および販売店が一切関知するところではありません。

③ 保証期間外における、修理・補修にかかる費用(販売店への送付から返送まで)は全てお客様ご負担にて行っていただきます。

Ⅴ. 保証対象

① 弊社工場出荷時、もしくは販売店でのご購入時の状況にある弊社デジタルサイネージ本体、弊社指定保証対象の周辺機器。

② 弊社保証対象以外の周辺機器は各メーカーの保証規定に準じます。

③ 弊社製品にプレインストール・添付された OS およびソフトウェア、各ハードウェアのドライバ使用上の不具合及びインストール方法。使用方法につきましては各メーカーでのサポートになります。

Ⅵ. 無償保証対象外事項

① 保証書を紛失・改ざんされた場合。保証受付の際に提示無き場合、本保証書に必須事項が明記されていない場合、保証書にシリアルナンバーが明記されていない場合。

② 保証対象商品の故障等不具合発生の原因が火災、地震、風水害、落雷、ガス害、その他の天災地変、公害や化学薬品、異常電圧等の外部的要因による場合。

③ お客様のお取り扱いが不当な場合による過失(接触不良、設定の誤り、改造、弊社または販売店サポートスタッフの指示無くソフトやアプリのアンインストールを行った場合、BIOS アップデートを行った場合、オーバークロック等の保証外動作を行った場合、商品運搬中の衝撃・振動など)による故障・損傷の場合。

④ 落下や衝撃、振動による故障・損傷。

⑤ 内部構成部品に損傷がある場合や外装部品に損傷がある場合。

⑥ 弊社工場出荷時、もしくは販売店での購入時以外に増設・アップグレードされた製品及びソフトウェアに起因する不具合の場合。

⑦ ソフトウェアの仕様やバグ、Driver(ドライバ)や BIOS(バイオス)の問題、ハードウェアの特性上の問題解決。

⑧ お客様ご自身が組み込んだ OS、プログラムやコンテンツ、データの保証、及び修理。

⑨ 弊社製品が原因で故障した他社製機器や部品。

⑩ 通常と異なる環境(電磁波・ノイズ・高温・低温・大量のほこり・タバコのヤニなどの環境)で使用された場合の故障・損傷。

⑪ ほこりやタバコのヤニ、その他水分など著しい汚れが本機等保証対象品に認められた場合。

⑫ 100V　50/60Hz 以外の電源で使用された場合の故障・損傷。OA タップなどに接続された場合の、電源供給の不安定な環境下での使用による故障・損傷。

⑬ 構成部品のシリアルシールが欠損している場合の故障・損傷。基本構成本体、及び付属品が欠損している場合。

⑭ 上記保証対象に該当しない箇所の不具合、故障・損傷など。

⑮ 工場出荷時の構成が確認できない場合やハードウェアの増減・ソフトウェアの追加が認められる場合。

⑯ 譲渡・転売・中古販売・オークション等でご購入された場合。

⑰ 消耗部品は保証対象外です。

⑱ 液晶画面上の画素欠けや異常点灯(赤・青・緑色)がある場合(仕様範囲内となりますので予めご了承下さい。)

⑲ コンピュータウィルス等の感染による不具合・故障。

Ⅶ. 免責事項

① ストレージ内のデータに関しましては保証いたしません。誤動作や故障により本製品の記憶内容が変化・消失する場合がございます。これによる損害、及び本製品の使用または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む)に関しては、弊社および販売店では一切の責務を負いません。その請求に対し、弊社および販売店には金銭の支払い義務、物品の無償提供義務は発生いたしません。

※修理の際は、必要なデータは必ずバックアップを取ってからお申込み下さい。

② 製品を梱包していた外箱・内箱以外の梱包、弊社指定の梱包以外にて販売店指定場所まで送付頂いた際の、運送中における故障・損傷につきましては、弊社および販売店では一切の責務を負いません。

③ 法律上の請求原因の種類を問わず、本製品の使用、または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む)に関しては、弊社および販売店では一切の責務を負いません。その請求に対し、弊社および販売店には金銭の支払い義務、物品の無償提供義務は発生いたしません。

Ⅷ.弊社取り扱いソフトウェア及び周辺機器を含む各パーツに関する注意事項

① 弊社取り扱いソフトウェア及び周辺機器を含む各パーツは動作することを目的としており、仕様及びそのパフォーマンスを満たすことを目的としたものではありません。

② ソフトウェア使用の最低条件として、必要とされる動作環境及び動作に関する機器への影響がない状態において使用することを旨とします。

③ 但し、使用するソフトウェアの動作環境を満たしている場合でも、内部機

器やソフトウェア、ネットワーク環境等の影響により、仕様及びパフォーマンスを十分に発揮されない、または一部使用できない場合があります。

④ 付属ソフトウェアのインストール、操作方法、動作、内容、及びそれに準ずるお問い合わせは弊社および販売店にてのご案内は致しかねます。同封またはメディア内に収録されたマニュアルをご参照の上、それぞれのソフトメーカーまでお問い合わせ下さい。

⑤ 付属のソフトウェアの所有権はお客様にその製品を引き渡した時点でお客様に転移します。以後その所有権は常に許諾者に帰属します。

⑥ 弊社製品、付属ソフトの使用、または使用不能から生じる損害に関して弊社および販売店では一切の責務を負いません。また、その請求に対し、弊社および販売店には金銭の支払い義務、物品の無償提供義務は発生いたしません。

⑦ 弊社および販売店サポートスタッフの指示なく行われた増設・拡張・アップグレード及び、ソフトウェアのインストールが起因による損害に関しては、弊社および販売店はその責務を負いません。

IX. その他の注意事項

① 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

② 特定の機能・使用方法(主にアプリケーションに起因する不具合)における動作保証は行っておりません。

③ 弊社および販売店サポートスタッフの指示なく行われた増設・拡張・アップグレードされた場合、その後の製品に対する保証は全て有償となります。

④ お客様の判断により、不具合申告されました場合でも、弊社および販売店スタッフが製品仕様の範囲内であると判断した場合、その不具合に対する保証は行いません。

⑤ お客様のご都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び運送料を請求させて頂きます。

⑥ サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付頂いた場合で、症状の再現性が認められない場合、及び製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させて頂きます。

⑦ 元払い以外(送料着払い・代金引換)で製品をご送付頂いた場合、製品の受

取はいたしません。

⑧ 修理作業範囲内で必要な場合を除き、お客様のご要望により製品を工場出荷時状態に戻す際は、技術手数料を請求させて頂きます。また弊社および販売店サポートスタッフが必要であると判断した場合、お客様への事前許可なしに工場出荷状態に戻す場合がございます。

⑨ ご購入時にお申込みを頂いた場合を除き、いかなる場合におきましても、保証期間の延長受付のお申込みは行うことが出来ません。

⑩ サポート対応の際に弊社および販売店サポートスタッフが必要であると判断した場合、お客様に事前の予告なく、商品構成を同等品、またはそれ以上の製品に変更させて頂く場合がございます。

⑪ 通常サポート時間にお問い合わせ頂いた場合、ご質問の内容によってはご案内が行えない場合があります。その場合はお時間を頂いてからあらためてご返答をさせて頂きます。

⑫ その他のオプションサービスについての詳細はご購入販売店までお問い合わせください。

⑬ 上記保証対象に含まれない場合、期間中であっても全て有償保証になる場合がございます。

⑭ 本保証規定は事前の予告なく改正、変更される場合がございます。

⑮ 弊社製品及び本保証規定は日本国内においてのみご利用可能です。

⑯ デジタルサイネージの廃棄・譲渡時のストレージ上のデータ消去に関しましては 3.7 ファイルマネージメントの条目をご覧ください。

⑰ 液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや異常点灯(赤・青・緑色)は故障ではございませんのでご了承下さい。弊社および販売店では画素欠点における一切の責務を負いません。

⑱ 弊社保証対象は工場出荷時構成と同等である場合に限ります。工場出荷時の構成が確認できない場合やハードウェアの増減・ソフトウェアの追加が認められる場合は弊社および販売店サポートを受けることはできません。

⑲ 譲渡・転売・中古販売・オークション等で購入された場合は、保証期間中でも有料修理となります。

⑳ 本製品は一般 OA 機器として使用されることを目的として開発・製造され

たものです。本製品を航空機・船舶・列車・自動車などの運行に直接かかわる装置・防災防犯装置や各種安全装置など機能・精度などにおいて著しく高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらシステム全体の安全設計にご配慮をいただいた上でご使用下さい。また原子力制御機器・生命維持に関わる医療機器・幹線通信装置・航空宇宙機器などの極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途へのご使用を意図してありませんので、これらの用途には使用なさらないでください。

本サービスの実施に際し、業務委託した第三者に全部または一部の業務を委託することがあります。

工人舎デザイン株式会社